

「選挙運動費用収支報告書」 提出用チェックリスト

項目	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/>
基本	表紙には、候補者氏名・住所（届出書と一致）及び期間（収入・支出の一番前の日付から一番後ろの日付）が記載されていますか。	
	誓約書には、作成日（提出日でも可）及び出納責任者氏名・住所（届出書と一致）が記載されていますか。	
収入	1万円超（10,001円以上）の収入（寄附）について、相手先の氏名、住所、職業がすべて記載されていますか。（無職の場合でも「無職」と記載が必要です。）	
	1万円を超えない収入（寄附）については、その種別ごとに各収入日における合計額が記載されていますか。 また、件数の記載はありますか。	
	労務や選挙事務所等の無償提供を受けた場合、収入（寄附）及び支出の両方に同日付で同額を計上していますか。 また、備考欄に無償提供である旨を記載していますか。	
	労務や選挙事務所等の無償提供など、金銭以外の収入を受け取った場合、“金銭以外の寄附及びその他の収入の見積の根拠”欄にその収入を直に見積もった場合の単価等を具体的に記載していますか。	
	後援団体や政党支部等が受けるべき寄附を誤って記載していませんか。	
	参考欄には、備考3にあるような公費負担相当額が記載されていますか。 （エクセルで作成される場合は自動的に計算されます。）	
支出	支出先の氏名、住所（番地まで正確に）、職業は正しく記載されていますか。 （領収書の情報と一致していること）	
	選挙運動用自動車の使用に要する費用や、選挙期間終了後の残務整理に要する費用など、選挙運動に関する支出とみなされない費用が計上されていませんか。	
	各支出は「立候補準備」と「選挙運動」に区分されていますか。 （告示日前の支出は「立候補準備」、告示日後の支出は「選挙運動」。）	
	公費負担対象額を計上し、備考欄に公費負担対象額である旨を記載していますか。	
	弁当を提供した場合、備考欄に個数や単価を記載していますか。	
	支出額が収入額（収入の部総計と公費負担額の合計額）を超過していませんか。	
領収書	領収書（レシートでも可）には、①金額、②年月日、③目的が記載されていますか。 （記載されていない場合、領収書欄外に不足している情報を記し、出納責任者の押印が必要となります。）	
	後援団体など、第三者宛の領収書の写しが添付されていませんか。 （選挙費用の領収書を誤って後援団体宛として受け取った場合は、領収書欄外に“〇〇選挙事務所からの支出”と記し、出納責任者の押印が必要となります。）	
	運動員や労務者に交通費や食料料を実費弁償する場合、個々の運動員から領収書を徴していますか。	
	銀行振込や労務の無償提供、公費による支出など領収書を徴収できない支出の場合、「領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書」を添付していますか。 （銀行振込の場合、振込明細書があれば「振込明細書に係る支出目的書」の添付でも可）	